

FIRST Workshop with the Gulf Cooperation Council (GCC)

【経緯／目的】

経済産業省は、米 국무省が主導する FIRST プログラムを支援している。同プログラムは、原子力産業および技術革新の力を活用し、原子力エネルギー分野への新規参入を目指す国および関係者を、安全性、セキュリティ、核不拡散性の最高水準の下で積極的に取り込みながら、世界のエネルギー安全保障の向上を推進するものである。

【実施内容】

米 국무省は、2026年1月下旬にバーレーン王国において、さまざまなタイプの SMR の理解および、それらを用いた発電および海水淡水化の理解を深めることを目的として、FIRST Workshop with GCC (湾岸協力理事会) (以下「FIRST 会議」という) を開催した。本会合は、GCC 事務局の追加的支援を得たバーレーンの Bapco Energies 社との共同主催であった。米国代表団の団長は、軍備管理・不拡散担当筆頭次官補代理である Ms. Ann Ganzer が務めた。

GCC 諸国は、バーレーン、クウェート、オマーン、カタール、サウジアラビアおよびアラブ首長国連邦の6か国から構成されており、これらの国からの参加者は計39名であった。

海外産業人材育成協会 (AOTS) の協力により、JICC 理事長はパネリストとして、「グローバルな原子力エネルギー導入における課題と機会」をテーマに討論を行った。また、JICC プロジェクトアドバイザー (PA) 1名は、実習指導者として SMR 技術の評価・選定に関する実習を指導した。さらに、他の JICC PA 1名は、高温ガス炉の熱利用 (水素製造、発電、淡水化) について講演を行い、GCC 諸国関係者に対して日本の技術および経験を共有した。

【成果】

JICC 職員3名による FIRST 会議への貢献は、GCC 諸国および米 국무省関係者から高く評価され、深い謝意が示された。これにより、日本政府 (経済産業省) による米 국무省の FIRST プログラムへの協力は十分であったと評価できる。

本会議には、GCC 諸国の原子力政策担当者および原子力専門家が多数参加しており、GCC 諸国と原子力協力を進める上で重要な関係を深化させることができた。また、本 FIRST プログラムを通じた協力により、日本と米 국무省とのパートナーシップが一層強化された。



米 국무省および GCC 諸国メンバーとの集合写真



JICC 理事長によるパネル討論



JICC PA1名、SMR 技術評価・選定演習で実習指導



JICC PA1名、高温ガス炉の熱利用に関する講演